



平成28年1月29日  
リサイクル燃料貯蔵株式会社

### リサイクル燃料備蓄センターの貯蔵計画届出について

当社は、本日、『核原料物質、核燃料物質及び原子炉の規制に関する法律』第43条の13及び『使用済燃料の貯蔵の事業に関する規則』第23条第1項の規定に基づき、使用済燃料貯蔵施設の貯蔵計画を、原子力規制委員会へ届け出ましたのでお知らせします。

#### 記

○ 使用済燃料貯蔵施設の貯蔵計画

使用開始の予定の日の属する年度（平成28年度）から、当該年度の4月1日を始期とする3年間（平成30年度まで）の貯蔵計画

以上

別紙：貯蔵計画

問い合わせ先  
リサイクル燃料貯蔵株式会社  
広報グループ 安藤・大島  
TEL 0175-25-2992

貯 蔵 計 画

平成28年1月29日

原子力規制委員会 殿

住所 青森県むつ市大字関根字水川目596番地1  
 氏名 リサイクル燃料貯蔵株式会社 代表取締役社長 峯 雅夫

核原料物質、核燃料物質及び原子炉の規制に関する法律第43条の13及び使用済燃料の貯蔵の事業に関する規則第23条第1項の規定により次のとおり届け出ます。

事業所		名 称	リサイクル燃料備蓄センター					最大貯蔵能力 (トン)					約3000				
		所 在 地	青森県むつ市														
年度別	期別	燃料体の種類 (注)	使用済燃料受入量					使用済燃料払出量					期末在庫量				
			封入した容器数 (体)	燃料体数 (体)	ウランの量 (トン)	ウラン235の量 (トン)	プルトニウムの量 (トン)	封入した容器数 (体)	燃料体数 (体)	ウランの量 (トン)	ウラン235の量 (トン)	プルトニウムの量 (トン)	封入した容器数 (体)	燃料体数 (体)	ウランの量 (トン)	ウラン235の量 (トン)	プルトニウムの量 (トン)
平成28年度	上期	BWR	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		PWR	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	下期	BWR	1	69	12	0	0	0	0	0	0	0	1	69	12	0	0
		PWR	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	計	BWR	1	69	12	0	0	0	0	0	0	0	/	/	/	/	/
		PWR	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	/	/	/	/	/
平成29年度	上期	BWR	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	69	12	0	0	
		PWR	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	下期	BWR	5	345	60	1	0	0	0	0	0	6	414	73	2	0	
		PWR	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	計	BWR	5	345	60	1	0	0	0	0	0	/	/	/	/	/	
		PWR	0	0	0	0	0	0	0	0	0	/	/	/	/	/	
平成30年度	上期	BWR	2	138	24	0	0	0	0	0	0	8	552	97	2	0	
		PWR	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	下期	BWR	6	414	72	2	0	0	0	0	0	14	966	169	4	0	
		PWR	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	計	BWR	8	552	97	2	0	0	0	0	0	/	/	/	/	/	
		PWR	0	0	0	0	0	0	0	0	0	/	/	/	/	/	
合 計	BWR	14	966	169	4	0	0	0	0	0	/	/	/	/	/		
	PWR	0	0	0	0	0	0	0	0	0	/	/	/	/	/		

注 燃料体の種類別に記載すること。  
 備考1 ウラン、ウラン235又はプルトニウムの量は、原子核分裂させる前のものを記載すること。  
 2 この用紙の大きさは、日本工業規格A4とすること。

BWRは発電用の軽水減速、軽水冷却、沸騰水型原子炉の使用済ウラン燃料を示す。  
 PWRは発電用の軽水減速、軽水冷却、加圧水型原子炉の使用済ウラン燃料を示す。  
 各欄毎に端数処理（四捨五入）を実施しているため、上期・下期の和と計が一致しない場合がある。